

そうぜんじ便り

19世 俊諦和尚筆

第146号

令和3年 秋彼岸号
臨濟宗 宗禅寺
建長寺派
住職 高井正和
閑栖住職 高井正俊
羽村市川崎2-8-20
TEL 042-554-1276
FAX 042-578-3525

夜の虫の鳴き声が秋の到来を告げています。コロナは依然収まりませんが、こういう時こそ昔はみんなでお薬師様に手を合わせました。例年通りの盛大なお祭りは開催できませんが、お薬師様にひととき手を合わせて、みんなの健康をお祈り致します。

川崎一本木堂薬師如来 コロナ退散健康祈願法要

雨天決行

令和三年十月二日(土) 十四時より

式次第

- 十四時 薬師堂にて 本堂にて
- 十五時
- 十六時 終了予定

- ◆ 疾病退散・コロナ追悼供養法要
- ◆ 百万遍の数珠回し
- ◆ 劇団水族館劇場境内路上芝居 「やさしい姉妹」〜何かが海を越えてくる〜

薬師如来祈願法要を迎えて

お薬師様は名前の通り、健康の御利益をもたらす仏様です。誰もが医者さんのお世話になれる今と違って、古の世界では大変重要な役割を担っていました。

古の世界では病気になるのは悪霊の仕業であるとの考えもあり、人々は病気に對抗する聖なる力を求めておりました。

奈良の法隆寺にあるお薬師さんは、聖徳太子の父でもある用明天皇の病氣平癒のためであり、奈良の薬師寺の御本尊のお薬師さんは持統天皇の病氣平癒を祈願して造営されたお薬師さんです。

宗禅寺にある薬師堂は室町時代に再建との伝承があるのみで、一番最初に新築されたのがいつ頃になるのかは、今となっては分かりません。ただ二つ言えるのは、コロナで苦しむ我々と同じように、病氣と闘った人々がいらつやつたということであり、その人々の祈りの気持ちがお薬師堂とお薬師様という形となって残っているということです。

毎年の賑やかなお祭りはできませんが、切なる人間の願いの心をこれからも新しい世代に伝えていきたいと思えます。

◎お彼岸の付け届けは同封の封筒の通りです。御協力の程、お願い致します。

◎秋の彼岸早朝坐禅会行います。九月二十日(月)〜二十六日(日)。毎朝六時〜七時です。予約不要です。

◎年末に建物境内維持費のご案内をさせていただきます。ご協力のほどよろしくお願い致します。

子供たちの居場所作り

らいむぎハウスの活動が宗禅寺にて始まりました

◆毎月、第二土曜日の9時～12時開催◆

この八月に有志の皆様が集まり、お子さんたちの支援をする事業が始まりました。組織名は「らいむぎハウス」と決定致しました。少年の目線から語られる有名なジェ

ーム・サリンジャーの小説、『ライ麦畑でつかまえて』からきています。

子供の貧困が叫ばれて久しい昨今ですが、不登校、家庭環境の不備、障害や病気により学校側から受け入れてもらえない、学童の不足など、子供たちを取り巻く環境は万全とは言えない部分があるようです。

そこで、放課後や学校が休みの時に、子供たちに居場所を提供し、少しでも勉強や遊びに没頭してもらい、不安を取り除いていける場所をみんなで作っていくことになりました。

この八月二十三日・二十四日は、まず第一歩として夏休みの宿題をまだ抱えている子供たちが安心して勉強できるスペースを作ろう、ということでお寺の客殿を開放致しました。現在コロナ禍で各自治会館が使用禁止となっている中で、寺にある広々としたお部屋に順番が巡ってきたということになります。各日とも十人のお子さんの参加があり、勉強だけでなく、みんなでおやつを食べたり、境内で伸び伸びと遊んだり



中学生のお姉さんがギターを披露

と、楽しく過ごして下さいました。また、元教師や元塾講師の方、現役大学生の方にもご参加をいただきまして、子供たちの勉強をみていただくこともできました。

二日間が終わってから反省会を開き、まずは「リアルてらこや」教室として、継続して、学校が休みの毎月第二土曜日の午前中に開催をしていくことが決定致しました。



▶坐禅体験もしました

▶元塾講師の方が勉強を教えてください



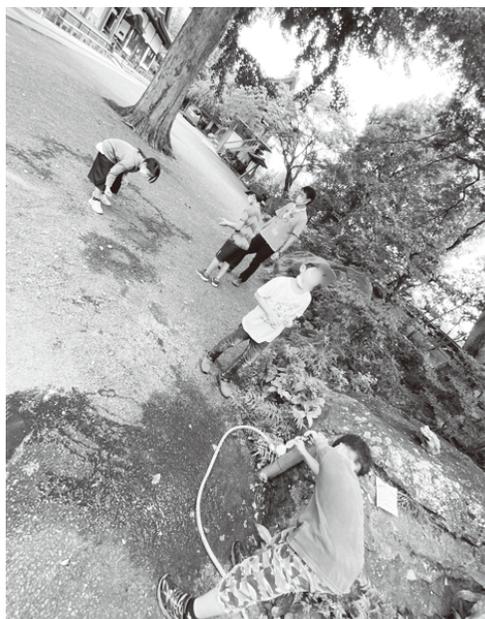
ご参加にあたっては、準備もありますので、事前の申し込みをしていただくのが望ましいのですが、当日急に来られても対応致します。また、時間内の入退場も自由とさせていただきます。

ゆくゆくはお昼ご飯を食べさせてあげたり、フリースクールのような場所にできればとの希望もあります。まずはしっかりと確実に活動を続けながら、色々と現場から学んでいきたいと思っています。

また、この活動にボランティアとしてご参加して下さる方も募集しております。勉強を教えることだけではなく、子供たちに寄り添って下さるお兄さんお姉さん、お母さんお父さん、お爺さんお婆さん、あらゆる



世代の方々の眼で子供たちを見守っていきたくて考えています。実際に現場を見学された方も歓迎致します。



勉強の後に水風船を使って遊ぶ子供たち

コロナ禍であえて再チャレンジ!!

事前予約あり

いま はむらによみがえる
リアルてらこや

9/11 (土)
午前 9 時 ~ 12 時
ぜひ気軽ににおこください!

対象: 小学1年生 ~ 高校3年生まで

宗禅寺
羽村市川崎2-8-20
(駐車場あり)

わいりょう 無料だよ!

【保護者のみなさまへ】
先月、第一回「リアルてらこや」を開催させていただきました。参加者全員の方から、喜びの声や応援のメッセージが寄せられました。皆様の思いの届いたお返りもありがとうございました。私たちが、この活動を継続していくことに意欲があると思っています。まだまだ手探り状態ではありますが、安心して活動のできる設備をつくりたいと、施設側や保護者側が中心となって見学させていただきました。入退場時間は自由です。お友達にも声をかけていただき、あまり機会のないお寺での勉強をしてみませんか?
*検査や消毒など感染症対策を行って実施します。
*申込書は、緊急時の連絡に使用しますので、保護者の方ご記入ください。

※今後の予定※ 10/9・11/13・12/11 第2土曜日午前中

お問い合わせ らいむぎハウス 担当: 水野・水嶋
☎ 090-5542-6159 メール: raiugihouse2021@gmail.com

子どもとかわかることが好きな
高校生・大学生のみなさん、てらこや
ボランティアスタッフしませんか?

参加申し込み欄

参加者名: _____ 学年: _____ 年 _____
緊急連絡先: _____
ご住所: _____ 今朝の体温 _____ 度 _____

*お務めした個人情報は適切に管理し、緊急時対応、コロナ感染防止対策、保護加入以外の目的には利用しません。

〈お問い合わせ〉
らいむぎハウス
☎090-5542-6159 (水野)
raiugihouse2021@gmail.com (水嶋)

文庫長だより 島田 秀男

玉川上水路を新堀橋から加美上水橋まで歩くところが一番気に入っています。新堀橋の名がつくっており、上水が開削されてから約九〇年後の元文五年（一七四〇）、多摩川側にあつた上水路が度重なる洪水によって被害にあつていたので、新しい水路に掘り替えられたところです。

ここは、広葉樹が多く冬になると道端に積もった落ち葉をサクサクと音をたてながら歩きます。春から初夏にかけては、緑のトンネルになります。息づいた葉は薄緑から深緑へと変化し、木々の生命力を体いっばいに感じるができます。

加美上水橋を右手に曲がると多摩川左岸の土手にでて、福生市営競技場までなだらかな坂道になっています。この道は昔多摩川の砂利輸送のための、青梅鉄道福生支線が走っていました。多摩川の砂利や玉石は、良質なものが採取されることで有名でした。大正一二年（一九二三）関東大震災後の砂利需要の増加に対応するために昭和二年（一九二七）二月青梅鉄道福生支線が開業しました。

敷設場所は、福生駅西口から福生市第四小学校付近を通り、加美上水橋を渡り福生市営競技場から多摩川土手の北側を走り、羽村市玉川町二丁目羽村大橋付近まででした。

玉川町二丁目にある福祉作業所スマイル工房付近の昔の写真を見ると、線路とともに駅舎らしい建物が写っています。多摩川から採取した

砂利をトロッコに積み土手から駅舎近くに山積みして、そこから貨車に積んだといわれています。

古老の話では、福生支線は貨物列車ばかりではなく、客車も乗り入れていたようで、列車待ちの人々を見かけたと言っています。

当初、砂利採取は地元の業者が組合を組織して行っていました。昭和二年八月から萩島石材店が砂利採掘に参入しました。戦後は東京の復興等で砂利需要が大幅に伸びましたが、昭和三二年（一九五七）小河内ダム完成により、上流からの砂利の供給が止まり衰退し、さらに多摩川の砂利採掘が全面禁止となり完全に幕を閉じました。

羽村大橋から土手の道を歩いていくと、多摩川に魚道がある床止めが二か所あります。上流側の床止めは、一昨年の秋の台風一九号で中央部が破損したままになっています。羽村堰まで来るとここも台風の被害にあつていて、河川敷には流れてきた土砂がうず高く積もつていて、堰下にあつた川の流れの中心に向かって突き出した「出し」も大きく崩れていました。洪水の破壊力はすさまじいものです。

羽村堰は、多摩川の水をここで堰き止めて玉川上水に流すためにつくられました。

羽村堰がここに設けられた理由は、羽村堰の対岸にある通称丸山があつたからです。上流から流れてきた多摩川の水が丸山にぶつかり、流速が小さくなった水が対岸ある羽村堰に流れ込むことができたからです。地形をうまく利用した先人の知恵といえます。

丸山は、北側の半分が崩れ絶壁になっています。絶壁になった原因については、明治四一年（一九〇八）の『東京市水道水源多摩川流域森林調査第一報告書』に次のように書かれています。「丸山とは西多摩村羽村上水引入口の対岸にある小山の俗称にして今をさること二百四十余年前承応年間より水制に利用せられたるため年々山脚の根底より土壌をかきとられ また山の上部よりは常に土砂を崩壊し絶壁をなし」とあります。また、冬になると土地が凍結して、春になると溶け出し自然に崩れ落ちるものも少なくないとも書かれていて、河川の汚濁の原因にもなっているから、護岸工事が必要であると報告しています。

玉川上水にとって、丸山は水制のひとつとして必要な役割を担っていたことがわかります。中国の「瀟湘八景（しゅうしゅうはっけい）」になぞらえてできた「近江八景」と同様に、羽村堰周辺の八か所を「玉川見立八景」として、明治二五年（一八九二）に当時の人たちが選定しています。「水神社の秋の月」「大堰の夕照」「堰の晴嵐」「川崎の夜雨」「峰院の晚鐘」「田の上の落雁」そして「丸山の暮雪」の八景です。

身を削ってまで羽村堰を守りとおした丸山は、現在崖になったところは緑に覆われていて、往時の姿を見ることはできません。

夕暮れに見る雪景色の丸山に、豊かな情感を育んだ昔の人の想いを胸に刻みながら、羽村堰をあとにして家路につきました。

《参考図書》

『福生の砂利線・渡船』福生市教育委員会発行

正俊閑栖未完成日記

コロナ禍ではありますが、寺も私も日々の生活を淡々と取り組んでおります。皆様も健やかにお過ごし下さい。

●六月 来山者六三〇名 体重 60kg代

○写経会 十七人の方おいで下さる 6/1

○鎌倉の仲間と立川国際でゴルフ。 6/1

○寺ヨガ、本堂で。薬師様幡あがる 6/3

○薬師堂裏、倉庫片付。水族館劇場の面々手伝ってくれる。きれいになる。 6/5

○寺の物置や倉庫などの片付け終了 6/6

○朝粥坐禅会十二人 夏障子に替え 6/6

○高村薫『時代へ世界へ理想へ』三回目読了。今を見る眼を養う。 6/8

○建長寺で鎌倉禅研究会 6/10

○土曜坐禅会 二十二人で満衆 6/12

○庭園史跡・貞観園 東京で評議員会。夕方、水族館劇場打ち上げ四〇人。客殿で。皆様ご苦労さまでした。 6/13

○夕方ウォーキングをジョギングに切り替える。 6/14

○水族館劇場完全撤収。荷物引受 6/15

○月一回の寺子屋教室。十人全員 6/16

○鎌倉鈴木大拙松ヶ丘文庫、評議員会。光泉で稲荷寿司。塩之入内科、フォー・ユ

ーでお昼。銀座山野楽器など 6/18

○土曜講座 和正和尚、彭丹さん、陣内先生。三〇人。いい会です。 6/19

○寺・総代会 お盆にそなえて 6/20

○福生新井勝紘先生を島田文庫長と共に訪問。資料整理のお願い。中里介石の「夢殿」

読了。介石と仏教 6/22

○横浜 神奈川芸術劇場の錬肉工房の公演

(牧三子さん出演) に行く 6/24

○禅センターで新聞サロン、八人。土曜坐禅会、横田基地のジャーベン女史、今日

が最後。米国に帰国。十八人 6/26

○昨年の九月の彼岸から朝の坐禅を始め、五月二十二日より結跏趺坐継続 6/28

○京都 禅文化研究所評議員会。様々な意見交換。充実。 6/29

●七月 二五〇人来山 体重 60kg前後

○お盆のたより等 発送作業。私は禅センターで本の整理。 7/2

○水族館劇場(桃山・千代次・秋浜) 来山。来年の公演相談。開催決定。 7/4

○四谷 ユニテ画廊へ。 7/6

○コロナワクチン注射 私は二回目。淑子さんは今日初めて。 7/7

○建長寺・鎌倉禅研究会 長尾総長と鈴木佐さん。皆さん熱心四十二人。 7/8

○宗禅寺土曜講座(和正和尚・岩田基嗣・大西克幸) 終わってから、軽井沢で寺子屋指導者合宿へ。久しぶりにビール。翌

朝坐禅指導。草広場イスで 7/10・11

○星野造園 中庭大模様替え。護持会の方々お盆掃除。写経会十三人。 7/11

○鎌倉 鈴木大拙忌法要於松ヶ岡 7/12

○お盆に入る 朝の坐禅会快調に。お盆中二千人の方が募参して下さい

○施餓鬼法要 新盆の方本堂へ。他の人は本堂前の施餓鬼棚で水向け。終わって総代・薬師講の役員でお弁当。和尚さんは六人。 7/15

○砂川・林泉寺さん施餓鬼会へ 7/17

○宗禅寺・寺子屋教室勉強会 7/21

○お寺で子供会の相談会。水野・水嶋・馳平・印南。開催準備。名称は「リアルてらこやへ」。主催はらいむぎハウス 7/23

○新聞サロン、禅センターで。オリンピック特集。五大新聞を比較検討 7/23

○鎌倉鉢の木で鎌倉ミーティング。各地から八人で深い深い対話。市長も 7/25

○『希望をにぎりしめて——阪神淡路大震災から二十五年を語り合う——牧秀二』読みだす。事実を知る大事さ 7/27

○『トップレフト』黒木亮、読了 7/29

○隣のコンビニ二分で行ける。途中でカード紛失。みつからずすぐ届ける 7/30

●八月 七三〇人来山募参 体重 60kg前後

○朝粥坐禅会十三人 写経会十四人。コロナ下でもみなさん平静 8/1

- 福生サッカークラブの小学生、朝六時から坐禅。皆きちんと素晴らしい。なんと八〇人。ありがたいことです。 8/2
- 中里介山『蓮長』日蓮上人の若かりし頃、介山が只者ではないこと解る 8/3
- 福生馬詰眼科へ。定期検診。 8/4
- らい麦ハウス「てらこや」会議 8/5
- 宗禅寺土曜講座 和正和尚・羽村幸子・並木恒延さん漆工芸ビデオ・田村しおりさんヴィオラ。土曜坐禅会7人 8/7
- 宗禅寺薬師講役員会 8/8
- 横浜・林光寺内田智昭和尚亡くなり、通夜へ。修行時代の仲間。 8/9
- 写経の会 なんと今日で千百回目 8/11
- 越生正法寺施餓鬼会へ。淑子さんの父母のお墓参りも。 8/13
- 津本陽『渋沢栄一』読了 8/13
- 毎日、少しずつ境内の掃除をしています。が、今日は涼しくて六時間続行。びっくりしました。坐禅会十六人 8/14



- 七日に及ぶ雨、自然災害、高温化、コロナ、人類が自然に試されている。
- 帚木逢生『沙林』サリンのこと。読了。 8/16
- 化学兵器の危険・恐ろしさ痛感 8/16
- 福生アルティメットクラブ中高大坐禅四十人 8/17
- 鎌倉禅研究会八・九月休会案内 8/17
- 十時より一時間、本堂でヨガ八人。皆さんもお出かけ下さい。 8/19
- 土曜日 木彫教室・坐禅会、そして写経会。粛々と続いています。 8/21
- 「リアルてらこや」開催。午前九時〜十二時、子供十人大人十人。二日間で四十一人の参加。皆さん楽しくやりました。続けます。西の風の新聞を見て、私の小学生の時の木下守先生のお孫さん・木下直人君（大学生）がお手伝いに来て下さいました。びっくりと同時に、なんと有り難いことかと思えました 8/23・24
- 「てらこや」振り返りとこれからのこと。九月十一日に開催。午後新聞サロン。土曜坐禅会八人。 8/28
- 『看取り先生の遺言』奥野修司。自らもガンになりながら、在宅医療で看取りを実践し、臨床宗教師を創出した岡部健先生のこと。もつと早くに読んでおきたかった。『安い日本』中藤玲も読了 8/28

「コロナ禍での年忌法要」について

度々お問い合わせもいただきますので、改めてコロナ禍での年忌法要についてお寺の方針をここでご周知させていただきます。

コロナの脅威が増してくるなか、法要をどのようにして執り行うか、年忌の節目を迎えたご家族の方からの問い合わせが多数ございました。

お寺としては法要にご参列される方の人数制限は現在設けていません。法要後の会食での客殿のご利用も禁止とはしていません。事前にお寺に人数をご報告の上、ご利用いただければと思います。また、ご法要はご自宅でも可能です。近隣の皆様に限られますが、事前に日程とお時間をにご相談下されれば、和尚がご自宅に伺い、ご仏壇にてご供養を致します。

ご法要に関しては、参列者の方の人数を絞って執り行っている方々が多いのが現状ですが、普段顔を合わせる機会のないご親族やご家族との貴重な機会ともなりますので、お寺側から人数制限を設けることは致しませんので、ご不安なことがあればご相談いただければと思います。よろしくお願致します。

和正和尚日單

東京オリンピック・パラリンピックの開催に比例して、コロナ旋風も強まっています。羽村市民の陽性・療養中の人数もまさに右肩上がり。七月一日の時点で療養者わずか一名でしたが、この原稿を書いている八月末の時点で百名を突破しています。身近なところでも、陽性の方や濃厚接触者も出始めました。

いよいよ正念場を迎えた感がありますが、かつてないレベルに到達しており、すでに我々は自覚のないうちに未知の領域に足を踏み入れていることになりました

娘たちは夏休みが明けて小学校に通学を始めました。夏休みに予定されていたパラリンピックの見学は中止となりましたが、学校関係者の皆様も正解のない判断を迫られたことと思います。

未知の領域に足を踏み入れているということは、何が起ころうともおかしくないということでもあり、あらゆる意味で一日一日を丁寧に過ごしていこうと思っております。

- 水族館劇場 劇団員、関係者が集まって客殿でささやかな打ち上げ 6/13
- 寺子屋委員会 続『歴代統鑑全』を読む 神明神社の調査報告書から日露戦争時の板書も。 6/16
- 消防 晩に消防訓練 動物園駐車場の使用が解禁される。 6/16
- 土曜講座 法政大学彭丹先生の「曜変天

目茶碗」と法政名誉教授の陣内秀信先生の「水都東京」。羽村も水の都です。水と人がお互いに活かしあうのが理想。私は日本曹洞宗の開祖、道元禪師について。

○総代会 お盆前の恒例の総代会。水族館公演の報告、お盆の施餓鬼法要のこと、市内三中横の土地のこと等報告と協議。 6/19

○消防 晩に車庫で役員会と日曜日に行われる合同訓練の準備。 6/23

○消防合同訓練 市内分団と消防署との合同訓練。西多摩衛生組合で消防署員の皆様にお稽古つけてもらいました。消防車繋ぎの放水訓練。 6/27

○ワクチン接種 訓練終了後、築地市場跡へ。消防団員枠にてモデルナ製ワクチンを接種。翌日腕が上がらなかつた。 6/27

○NHK 晩にNHK教育テレビで水族館劇場の宗禅寺公演密着の様子が放送。色々な制約もあるなかで三十分番組への編集はなかなか難しそうですが、まとまっています。 6/30

○弥生保育園 ご近所の福生市弥生保育園さんが、毎年七夕用の笹をお寺にもらいにきています。 6/30

○朝粥坐禅会 土曜坐禅会と朝粥坐禅会は継続的に開催しています。 7/4

○水族館劇場 桃山さんと秋浜さんが来山。劇団で反省会を行い、その報告に。すでに来年の公演は決定していましたが、秋と正月に境内で路上芝居をさせて欲しいとのお願い。 7/4

○ワクチン接種 スポーツセンターで正俊

和尚二回目、淑子母は一回目のワクチン接種。私が送迎。 7/7

○消防 晩に訓練 7/8

○大掃除 健康体操の皆様が日頃の御礼にと、お盆前の建物内のお掃除をして下さいました。大変有難いことです。 7/9

○土曜講座 日の出町在住の岩田基嗣の「多摩川上流水源地」のお話しと、彩プロダクツ・大西克幸さんの「自分の死後をどうするか」。大西さんは正俊和尚とお付き合いがながく、多方面でご活躍されている方です。今回はお話しほかに、お寺の農地を農業大学の生徒さんと連携して栽培している玉ねぎをたくさんいただきました。私は日本に臨済宗を伝えた栄西さんのお話し。 7/10

○護持会清掃 午前中にお盆前の墓地清掃。薬師講役員さんと。護持会新会長、中根一明さんのリーダーシップが凄い。 7/11

○新町東禅寺 お盆のお施餓鬼へ。コロナでお寺さん同士の行き来もかなり減りましたが、東禅寺さんからは要請がありました。 7/12

○お盆早朝坐禅会 お盆期間中、毎朝坐禅会。参加者ぼつぼつ 7/13

○宗禅寺施餓鬼会 午前中に長徳寺さんのお施餓鬼に行ってから。総代さん、薬師講役員さんが集まって下さり、準備を手伝って下さいます。本年儀式参加者は三十名ほど。来年はどうなっているのでしょうか。 7/15

○消防 晩に訓練。 7/16

○朝顔 瑠璃花と花音が小学校で栽培している朝顔を回収に東小学校へ。子供では

自分で持ち帰るのが難しいので、今は親御さんが学校に取りに行くそうです。自動車でひとつとび 7/17

○西砂町林泉寺 林泉寺さんの施餓鬼法要へ正俊和尚と。専任のご住職が不在となった林泉寺さん。近隣のお寺で支えています。 7/17

○たまケーブル インターネットを光回線にするため、たまケーブルの方が工事に入る。事前の下見もありましたが、一般家庭とは違って建物が大きいのだけっこう苦戦されていました。購入したワイフアイの中継器も数か所に設置。お寺本堂にネット環境が整いました。暑い季節にありがとうございました。 7/20

○ワクチン接種 今度は代々木公園で二回目のコロナワクチン接種。午前十時過ぎには接種しましたが、夜寝るときには既に体に異変が。 7/20

○発熱 体温37.9度。しつかり熱が上がりました。寺子屋委員会欠席： 7/21

○宗禅寺 水嶋恵子さん、水野義裕さん、馳平耕三さん、印南修太さんが来山。夏休みに子供たちが集まって学習ができる場所を作りたいという事業。コロナで自治会館の使用が禁止になっている現状で、宗禅寺を使用させて頂き下さらないかというお願いでした。今回は、夏休みの宿題が終わっていない子供たちへの学習場所の提供です。快諾。準備始まる。 7/23

○ワクチン接種 淑子母二回目の接種。台風も回避となり色々安心 7/28

○消防団 コロナの現状を鑑み、火災の消火活動と幹部会議以外の消防団活動が休

止することが決定、連絡が来る。翌日に予定していた晩の訓練も中止となりました。 7/29

○マンション火災 活動休止も火災発生。暑い季節の消火活動は水分補給も考えないとこちらが倒れてしまいます。 7/31

○朝粥坐禅会 坐禅後にみんなでお粥を食べる。ただし、元々お寺の食事作法は黙食なので静かに肅々と。 8/1

○福生ゴナスポーツクラブ坐禅体験 羽村玉川地区の隣のグラウンドで日頃から練習している、福生ゴナスポーツクラブのサッカー部の子供たちが早朝に坐禅体験。コーチ含め七十五名来山。本堂坐禅堂いっぱい使って六時から一時間。坐禅も元々黙って行う瞑想行ですが、今この呼吸に集中。 8/2

○リアルてらこや 有志の皆様による夏休みの子供たちの居場所作り。お寺で二回目の打ち合わせ。今年の企画は「リアルてらこや」と命名されました。団体名は「らいむぎハウス」に決定。チラシ、広報の仕方等相談。 8/5

○ワクチン接種 綾子さんが都内の大規模接種センターでワクチン一回目。来月のお彼岸前に二回目予定。 8/6

○土曜講座 田村しおりさんのヴィオラ演奏、ハムサさんのお寺での心の相談室の報告、テレビはむら制作の地元羽村の漆工芸作家・並木恒延先生の「漆と生きる」を皆で鑑賞。私は榮西さんの二回目と盛りだくさん。 8/7

○薬師講 晩にお寺で役員会。十月のお薬師さんのお祭りは中止と決定 8/8

○谷中 ルリカノ綾子さんと谷中へ帰省。ルリカノは初めて谷中に泊まった。兄夫婦家族にも男の子が二人いて仲良く遊ぶ。一緒に祖父母の墓参も。 8/10、12

○リアルてらこや らいむぎハウスの三日目の打ち合わせ。元塾講師の関さんもこの日から出席。当日参加して下さる子供たちの申し込みもちらほらあり、形になってきました。 8/15

○三芳町多福寺 旧盆のお施餓鬼法要へ。多福寺は母の故郷であり、禅林寺住職だった曾祖父島田玄藤和尚が羽村から移ったお寺です。 8/16

○福生ゴナスポーツクラブ坐禅体験 先日のサッカーの子供たちにつき、此の日はアルティメット競技をしている中学生から大学生皆さん四十五名ほど。コロナで合宿に行けない中、普段と違うことを取り入れ、合宿感を出してあげたいという篠田代表の想いがあった坐禅体験という運びとなりました。 8/17

○西東京臨済会 雨間地藏院さんで幹事会。秋に予定している研修会の案内状の発送作業と打ち合わせ。 8/26

○ルリカノ 夏休みが終わって小学校が始まりました。元気に登校。 8/26

○朝顔 夏休み中に自宅で預かっていたルリカノの朝顔を学校へ運ぶ 8/27

○書道教室 毎月一回の書道のお稽古。近隣の和尚さんと。 8/27

○らいむぎハウス 午前中にリアルてらこやを開催し終わっての反省会。定期的に開催する方向で話しがまとまりました。まずは試験的に毎月第二土曜日午前中に開催することに。 8/28

土曜講座のお知らせ

毎回ほぼ三十人の方がお見えです。みんないろいろな文化を学びましょう。どなたでもご参加できます。予約不要、お茶代三〇〇円です。

◆第五十八回 九月十八日(土) 十三時～十六時 仏教講座「日本仏教史～渡来僧の活躍～」

住職 高井 和正

「羽村の文化 その一―川崎村―」 宗禅寺文庫長 島田 秀男 さん

トルコの吟遊詩人の歌と音楽・楽器 羽村玉川町在住 サズ奏者 藤井 良行 さん

※サズとはトルコの伝統的な弦楽器です ◆第五十九回 十月十六日(土) 十三時～十六時 仏教講座

「日本仏教史～鎌倉新仏教とは何だったのか～」 住職 高井 和正

神明神社・社殿改修を終えて 大工 秋山 一男 さん

羽村市の古建築 羽村市文化財保護審議会

会長 白井 裕泰 先生 ◆第六十回 十一月二十日(土) 十三時～十六時 仏教講座

「日本仏教史～室町幕府と京都五山～」 住職 高井 和正

左官一筋 ―海外にも伝播― 川崎在住 水村 辰也 さん

西多摩の魅力と課題 東京都議会議員 田村 利光 さん

東京大学講師 足利 大輔 先生

◆第六十二回 十二月十八日(土) 十三時～十六時 仏教講座 「日本仏教史～室町時代・民衆に広がる仏教～」

住職 高井 和正

福生子供食堂五周年をふりかえって 代表 厚谷 まゆみ さん

りあるてらこやの今後 らいむぎハウス代表 水嶋 恵子 さん

鎌倉禅研究会のお知らせ

十月から再開します。建長寺入山料五〇〇円、資料代五〇〇円。予約不要です。

◆第七五回 十月 十四日(木) 十三時～十六時 髭僧伝説の謎と中世東国

明星大学准教授 芳澤 元 先生

室町時代の喫茶文化 京都造形芸術大学講師 橋本 素子 先生

◆第七十六回 十一月十八日(木) 十三時～十六時 建長寺二世 元庵普寧の語録を読む(三)

法政大学講師 建長寺研究員 彭 丹 先生

禅宗の葬儀法 鶴見大学講師 徳善寺住職 尾崎 正善 和尚

◆第七十七回 十一月十六日(木) 十三時～十六時 中世東国禅林の出版事業

早稲田大学大学院 早稲田大学講師 白川宗源 和尚

建長寺開山蘭溪道隆と金剛經 福巖寺副住職 采澤良晃 和尚

※坐禅会と写経会、土曜講座は継続的に開催しています。

●朝粥坐禅会…毎月第一日曜日 朝6時～8時半 禅の食事の作法でお粥をいただきます。禅の作法は黙食です。 10/3 11/7 12/5

●土曜坐禅会…毎週土曜日子供:18時～19時 大人:19時半～20時半 繰り返しの腹式呼吸。深い呼吸でココロも安定。

●彼岸早朝坐禅会…9月20日～26日 毎朝6時～7時。予約不要。鐘を撞いて、般若心経をお読みしてから坐禅をします。

●土曜講座…毎月1回の公開講座。13時～16時 地域文化と財産の再発見。いまある世界をより豊かに感じるために。

●写経会…毎月1日、11日、21日、13時～15時 般若心経の写経をしています。支度、片付けは全員で。自分のペースで一文字一文字丁寧に。

●御詠歌…毎月第1・3火曜日 1時半～3時 指導:高井淑子

●手打うどん教室…現在2クラス開講中。月一回。講師:島田辰夫先生 ※コロナで現在お休み中です

●いきいきヨガ…毎月第1、第3木曜日 10時～11時 予約不要 ¥500 大きめのバスタオル所持 講師:園部多恵子さん https://www.instagram.com/tae.yoga/

○木彫教室…毎月第1・3土曜日 13時～16時まで 講師:新井達矢先生 見学できます 仏像や能面を自分で彫ってみませんか? 月謝5000円(道具、材料費は要別途) 新井達矢先生ブログ:https://ameblo.jp/tapazyia-1982/

○俳句教室…毎月1回、適宜。問い合せ先:中野つたえ ☎554-2444

○尺八吹禅の会…毎月第1、第3月曜 夜7時半～9時頃 坐禅15分、練習60分、問い合せ:坂井陵童 ☎554-3273

○介護予防体操…健康体操の集いです。直接、禅センターにお越し下さい 毎週金曜日14時～16時

○お寺でこころの相談…タロットによる心理セラピーです ハムサまで 毎週日曜日13時～18時 要予約 090-6792-4784

○新聞サロン…毎月第2、第4土曜日13時～14時 新聞を楽しく読んで世界を広げよう。活字から読む力を。お子様の参加大歓迎です。要予約 090-6549-0751 講師:鹿野川喜代美さん 042-554-7343 まで

○女性サンガの会・薬師講・寺子屋委員会・護持会 ―活動中です―

○宗禅寺禅センターをお使い下さい。 ■各教室の会場: ●は宗禅寺 ○は禅センターです

宗禅寺毎月の活動

―お寺で新たな自分の発見を―